予定候補者名 質問内容	峯 理美子	近藤 豊	田中 千裕	奥ノ木 信夫
2、防災対策について ／川口市は、支所を防災拠点に、また、公民館を自主防災組織と連携して災害に対応する地区活動拠点に、それぞれ位置づけています。しかし、川口市内10地区中4地区には支所しかなく、公民館は広い戸塚地区に2館しかない状況です。防災対策上、地区間に格差があり、この格差解消と職員配置の体制強化が喫緊の課題と考えます。お考えをお聞かせください。	大人口58万人で広域の川口市では、災害時には市役所一極集中での防災対策は困難と思います。地域毎の防災組織とは連携できる体制を強化する必要があると考えます。・・・その職員体制には、現在の支所と公民館の職員が対応が図られるか、検討しなければなりません。また、戸塚地区の人口規模や公民館利用実態も調査し、公民館建設も含めて戸塚地区市民が安心できる防災対策が図れるよう考えます。	地区間の格差解消のためには、民間企業等の協力を得て防災拠点としての役割を担っていただく必要があるとしたら、職員配置の体制で対応が図られるか、検討する場合、災害応急対策を迅速かつ的確に実施するための必要な人員を動員配備するために、職員の居住地、災害の規模を勘案し、実践的な動員配備体制を整備し、各部部長は「配備区分」に基づき所管の部班（課）ごとに「動員配備計画」及び伝達計画（平常業務時、休日・退庁後）を作成し、危機管理部長は報告するようになっております。総務部は、この報告を基に災害発生時の非常連絡体制や広域援体制の整備に基づく、動員配備計画を定め、適宜見直しを行い、この体制を強化維持して行く必要があると考えます。	災害が発生した場合、出先の支所や公民館は重要な防災拠点になると思います。ただ一方で出先の支所がないから、対応が全くできない訳ではありません。自主防災組織の取り組みなど、行政ではできない住民主体の防災対策や事前準備の方がはるかに優れているとも言えます。市内の均衡な発展を私の公約にしているところであります。公民館などが地域格差を生じていることは充分に認識しているところであります。市長に当選した折に、他の政策との優先順位を見極めながら前向きに検討して行きたいと思います。	十分に検討させて頂きます。
3、まちづくりについて ／川口市自治基本条例を生かすうえで、川口駅周辺の開発だけでなく、10地区それぞれの特徴を生かした、防災や地域振興を推進できる地域の要望も生かした、地域の特徴を生かした、地域振興やコミュニティー、地域づくりが必要です。その実現のためにも、それを保障するシステム（たとえば、公募による地域協議会など）が必要と私たちはお考えをお聞かせください。	委員の公募をします。担当職員も配置し、応募した人たちで全員で、わが地区の宝さがしや、すみよいまち、防災やコミュニティー、地域振興への調査や意見をまとめ、政に生かします。年1回は10地区鑽区の交流会を開催し、お互いに研あつて、市民が主人公のまちづくりを推進します。交流会や広報を通して、市民への公開と新たな応募者を増やしていきます。	10地区ごとにまちづくり推進協議会やまちづくり懇談会を設置し、地元の皆様による防災やコミュニティー、住みよい街づくりを話し合っていただき、要望をあげて頂ければと思います。	既に、議会や議員を通して多くの市民のご意見を伺う制度が存在しており、市議会でも議会基本条例の検討なども始まり、住民の皆さんのご意見を丁寧に伺うことを前向きに検討されているようです。また、審議会やパブリックコメントなどの制度もあり、政治の専門家や各種団体の方々からも広く意見を頂いております。地域協議会なども市民の意見を丁寧に伺う制度とは思いますが、まずは現存する議会の制度を機能するものとし、審議会やパブリックコメントなども活用するなど、いまある制度を徹底的に生かしてからの話だと思います。屋上屋を重ねるよりも、今の機能を十分なものとすることが大切だと思っています。	これからは市民の皆様に協力していただく場面がいろいろと出てきます。・市民の皆様のボランティア活動も含め、その中の一つとして考えていきたいと思います。・市民の皆様の協力なくしては市政運営は出来ません。
4、新庁舎建設について ／故岡村市長は12月市議会で、新庁舎の建設をすすめるにあつて、「市民のみなさんや各関係団体のご意見もお聞きしながら、市庁舎の適切な規模や鳩ケ谷庁舎をはじめ、各支所の有効活用なども十分に検討に加える」と、方針について、お考えをお聞かせください。	市役所は、市民のために開かれたものでなければなりません。建設にあたつては、市民懇談会を含めた市民の参加と市民サービスを担う職員が一体となつて計画づくりをしていくことが大切です。現在の鳩ケ谷庁舎などの既存の庁舎も活用し、豪華庁舎ではなく簡素で、市民が気軽に利用できて、安全なものを考えます。あわせて、支所機能を充実することで、庁舎建設の規模を縮減できると考えます。	このたびの新市庁舎建設については、川口市庁舎建設審議会の答申を無視したような議決が12月議会でなされました。新市庁舎の建設場所・規模について、「市民投票」により市民の意見を反映した新市庁舎建設が望ましいと考えます。支所機能を充実させれば、新市庁舎の規模も小さくできると思っています。	過去の議会の議決や1年間かけて議論した審議会の答申を市議会が変更して充分に説明ができていないことから、新市庁舎建設審議会の答申を尊重し、民意を充分に把握し、民意に沿った形で検討し、結論を出したいと思います。	この方針を尊重します。

＊ お断り： 項目ごとに回答文の字数を２００字以内にお願いしましたが、枠内に収まらない場合は、文字のポイントを変えて表示しました。